

演題 5GやDXが経済や社会にもたらす変革 ～気づきと共感がデジタル経営の鍵～

講師 東京大学大学院工学系研究科教授
森川 博之 氏

1987年東京大学工学部卒業。92年同博士課程修了。博士(工学)。2006年東京大学大学院教授。モノのインターネット/ビッグデータ/DX、無線通信システム、クラウドロボティクス、情報社会デザインなどの研究に従事。OECDデジタル経済政策委員会(CDEP)副議長、情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)会長、Beyond 5G新経営戦略センター長、ブロードバンドワイヤレスフォーラム会長、総務省情報通信審議会部会長、電子情報通信学会次期会長、Preferred Networks取締役等。電子情報通信学会論文賞(3回)、情報処理学会論文賞、ドコモモバイルサイエンス賞、総務大臣表彰、志田林三郎賞、情報通信功績賞、大川出版賞など受賞。著書に『データ・ドリブン・エコミー』(ダイヤモンド社)、『5G』(岩波新書)など。



日時	2022年12月19日(月) 14:00～16:00 (開場13:30)
会場	金沢商工会議所1Fホール (石川県金沢市尾山町9-13) ※実地開催のみ ※オンラインでは開催しません
モデレーター	小津 敦 北陸総合通信局長
挨拶	金井 豊 北陸情報通信協議会会長、北陸経済連合会会長 (北陸電力(株)代表取締役会長)
主催 共催 後援 (予定)	北陸総合通信局 北陸情報通信協議会(HICC)、北陸経済連合会 金沢商工会議所、(一社)金沢経済同友会、(一社)石川県情報システム工業会、 (一社)富山県情報産業協会、(一社)福井県情報システム工業会、 (一社)テレコムサービス協会北陸支部、ICT研究開発機能連携推進会議(HIRP) (順不同)
申込先	北陸総合通信局総務課 (riku-reception@soumu.go.jp) ※電子メールにて、①機関団体名、②役職名、③氏名(フリガナ)、④電子メールアドレス、 ⑤電話番号を記載の上、お申し込み下さい(参加費無料)。 ※12月12日(月)締切。ただし、一定数を超えた場合、早期に受付を終了します。参加希望の方は、席を確保するため、お早めにお申し込み下さい。

5G、IoT、AIといった新しい情報通信/デジタル技術が身近になりつつあります。それぞれの技術的な説明はあっても、利用者にとってどのようなサービスとして提供されるのか、どういったユースケースが有望なのか、経済や社会にどのようにビルトインされるのか、その結果、経済や社会がどのように変化するかなどについての高い視点からの説明は、必ずしも多くありません。また、情報通信が生成するデータがネットワークと連携し、新しい価値を創造し、社会全体の生産性が向上すれば(データ駆動型社会)、産業構造や社会構造までも変貌すると言われていています。

経済や社会のゲームチェンジが起ころうとする中、従来の通信キャリアやメーカーだけでなく、サプライチェーンの各段階の企業、ソフトウェアやソリューションの提供企業、プラットフォーマー、さらには、情報通信のユーザー企業も、ステークホルダーとして主体的に関わることが期待されます。

各経営者に求められることは、経営戦略にデジタルの視点を取り入れ、異業種を巻き込み、普段の仕事や生活から得られる「気づき」も加味し、デジタルで生じる新たな価値を生む試みです。他社との差別化や事業課題の解決の早道となる可能性もあります。

本講演会では、我が国でこうした議論の第一人者である東京大学の森川教授にお話をいただきます。森川教授は、情報通信/デジタルについて、技術面から精通されているだけでなく、産官学が共同で我が国の方向性を議論する場の取りまとめを長く経験され、政策面での深い知見もお持ちです。

今回は、情報通信分野の方々だけでなく、それ以外の産業分野で利用者として情報通信に関わる立場の方々も対象として講演いただきます。北陸3県のGDPは約13兆円で、ハンガリー、モロッコ、ケニア、スリランカといった一国のGDPに匹敵します。情報通信/デジタルにより北陸経済をいかに活性化するかといった視点からもコメントいただきます。

